

元中だより



富士市立元吉原中学校
学校だより 第4号
令和5年8月28日

元吉原中学校HP

☆富士市中学校総合体育大会等結果☆

6月24日(土)から富士市中学校総合体育大会の幕が上がり、生徒たちは、部活動の仲間と培ってきた力を存分に発揮しましたので、大会等の結果を掲載します。

サッカー 対 吉原東中 勝利→2回戦進出
対 富士中 惜敗

男子バレーボール 対 岩松中 惜敗
女子バレーボール 対 吉原北中 勝利→2回戦進出
対 大淵中 惜敗

ソフトテニス [団体戦] 対 須津中 惜敗

卓球 [男子団体戦] 対 吉原一中 勝利→2回戦進出
対 田子浦中 勝利→準決勝進出
対 岳陽中 惜敗→第3位入賞

[女子団体戦] 対 岳陽中 惜敗

剣道部 [女子団体戦] 対 吉原二中 惜敗

陸上競技 [県選抜大会] 3年男子 400mB決勝 第1位
[県大会] 3年男子 男子共通 400m 51秒59→全国出場決定
[市内大会] 3年男子 男子共通 400m 第1位
[全国大会] 3年男子 男子共通 400m 予選5組6着

水泳 [中東部大会] 3年女子 200m背泳ぎ 第7位
[市内大会] 3年女子 200m背泳ぎ 第3位
2年男子 50m自由型 第2位、100m自由形 第2位

吹奏楽 [吹奏楽コンクール東部大会] B編成の部 銀賞

今後の予定

駅伝 令和5年9月16日(土) 於：富士市総合運動公園陸上競技場周辺

※男子、女子チーム共に、各部から有志が集まり、夏の暑い中、走り込みを続けています。“Change”することで、今後の人生に生きる何かを得てほしいです。「みんなで応援しています！」

陸上全国大会に向けて3年男子Fさん(3年)の決意

全国大会出場を目指して、週6日、少くとも週4日、練習に励んできました。そして、県通信陸上で400mを走り終えた直後、電光掲示板を見上げ自分の記録を見つけた瞬間、胸がいっぱいになりました。(今までの努力が実った)という喜びと(支えてくれてきた家族や仲間へ感謝したい)という思いがあふれてきたのです。今後も練習をしっかりと継続して、全国の舞台で走り切り、良い結果を残していきたいです。

☆後期生徒会役員選挙☆

7月18日(火)に後期生徒会役員選挙を行い、後期の生徒会役員が選出されました。6月から選挙管理委員会が準備を進めました。特筆すべきことは、選挙ポスターを、立候補者が自分のタブレットで作成することです。その出来栄は大人の選挙で使われているものと何ら遜色ないものでした。また、各候補者は、学校の活動を盛り上げようと様々な公約を掲げました。中には、地域貢献を訴える候補者もいて感心しました。

※授業で“文房具の一部”のように使用している学習用タブレットですが、このように、授業だけでなく生徒会活動やアンケートにも使用し効果を上げています。



大人顔負けの選挙ポスター

☆生徒会主催 元中杯(ソフトバレーボール大会)☆

6月下旬～7月中旬の昼休みに、前期生徒会が主催となって、元中杯(ソフトバレーボール大会)を行いました。公約として掲げた「1・2・3年の縦割りの仲を深める活動をする」を見事に具現化しました。1チームの中にバレー部員は2人まで入ってもよいなどのルールの下、学級の代表者でチームを編成し、熱戦が繰り広げられました。コートを囲む級友の熱い声援を受けながら、夢中になって楽しむ様子が見られました。これでまた1つ前期生徒会の公約は果たされました。



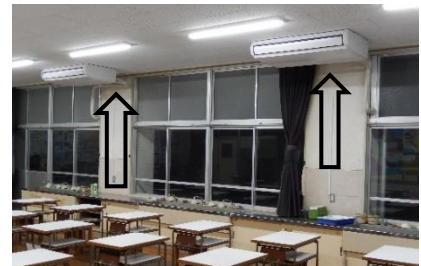
ソフトバレーで学年を超えた親睦

【元中杯結果】〈第1位〉3年2組 〈第2位〉1年1組 〈第3位〉3年1組

☆特別教室にもエアコン設置☆

市の予算で特別教室にもエアコンが設置されることになり、先日、工事が完了しました。設置場所は、美術室、理科室、音楽室、図書室の4つの教室です。

今年は、例年以上に残暑が厳しいので、夏休み明けに間に合ってホッとしています。座席の位置によって、暑かったり冷たかったりすることがあるかもしれません。衣類などで上手に調整しながら、多少の我慢はしていただきたいと思います。



特別教室に設置されたエアコン

☆保護司会によるあいさつ運動☆

保護司会では、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための「社会を明るくする運動」を行っています。その一環として、7月3日(月)の朝、元吉原支部の皆様が、正門であいさつ運動を行ってくださいました。

人は誰しも笑顔であいさつを交わし合えば、元気や明るさ、安心感などの前向きな気持ちがわいてきます。保護司会の皆様方の姿から、生徒たちは何を感じ取ったでしょうか。生徒の皆さんも、笑顔であいさつすることによって、自分たちが暮らす学区を温かな場所にしていてもらいたいと思います。私たち教職員も生徒の手本となるように心のこもったあいさつを心掛けていきます。



保護司さんにもしっかりとあいさつ

☆地域の方(卒業生)のお気持ちに感謝～齋藤知一郎氏銅像の修復工事～☆

北駐車場付近の樹木が朽ちて倒木の危険があったり、樹木の根がアスファルトを押し上げ生徒がつまずきそうになったりしていたので、きれいさっぱり樹木を伐根し、整地しました。このことによって、木々の中で静かにたたずんでいた齋藤知一郎氏(大昭和製紙の創業者)の銅像が、日差しの下に現れることになりました。しかし残念なことに、背面の功績を称える石板の文字が見えづらくなってしまっていました。そこで、地元の大石石材工業様にご相談したところ、昔は体育館付近にあり体育館が新しくなるタイミングで移設されたことなどを教えていただきながら、「私は元中の卒業生なんで…」と、無償で修復することを約束してくださいました。暑期中、大変な作業だったと思います。心から感謝申し上げます。その後、道行く人が足を止め、石板の内容を熱心に読み取る姿を何度も目にしました。

元吉原地区には、大石様のような“カッコいい大人”がたくさんいらっしゃいます。学校の役割の1つとして、生徒たちに、カッコいい大人を紹介したり出会いの場を設けたりすることがあると思います。これにより“地元愛”が、より強くなっていくのだと思います。



石板を修復する大石様



修復された齋藤知一郎氏の石板